

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
AQUA

専用シートカバー取付説明書

1290/1291/1292

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

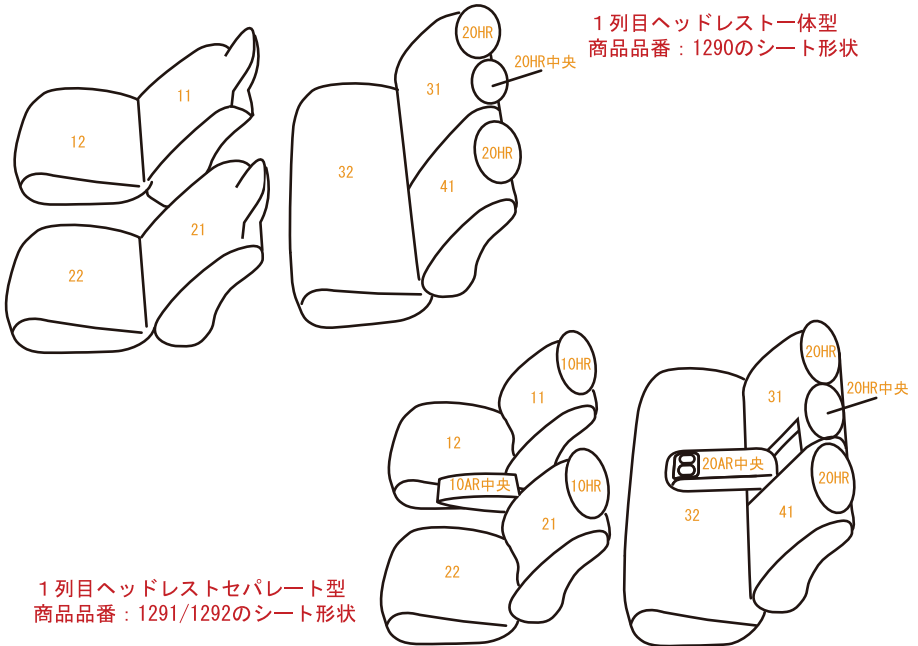
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

- シートカバー装着前の注意事項 …→ 1P～2P
- 警告 サイドエアバッグについて …→ 3P～4P
- 1列目座面の装着方法 …→ 5P～7P
- 1列目ヘッドレスト一体型背もたれの装着方法 …→ 8P～9P
- 1列目ヘッドレストセパレート型背もたれの装着方法 …→ 10P～12P
- 2列目座面の装着方法 …→ 13P～17P
- 2列目背もたれの装着方法 …→ 18P～20P
- 2列目アームレストの装着方法 …→ 21P～22P
- 1列目アームレストの装着方法 …→ 23P～25P
- 1列目ヘッドレストの装着方法 …→ 26P
- 2列目ヘッドレストの装着方法 …→ 27P
- 完成 …→ 28P
- アフターサービスと生地別メンテナンス方法 …→ 29P～30P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① プラスドライバー (No. 2) ※ 1 列目アームレスト装備車のみ使用します。
- ② 両面テープ (薄いタイプ) ※ 1 列目アームレスト装備車に使用を推奨しています。
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

※当説明書で使用している画像の一部は、シートが同形状のTOYOTA：ヤリスの画像を使用しています。
予めご了承ください。

1 列目座面の装着説明では、ヘッドレストセパレート型のマニュアルシートを使用しています。
ヘッドレスト一体型シート・運転席パワーシートは、一部シートの形状に異なる部分もありますが、同様の固定方法でカバーの装着を行って下さい。



- 1 始めにシートの背面からシート裏に固定されている生地を外します。
生地はシート裏のフックにゴムを引っ掛けて固定されています。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 2 シートの位置を一番高い状態に調整して、カバーの装着を行います。
①シートの前側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。②そこからシートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5 シートの背面から生地を引き出します。
この際、生地の分かれ目目でサイドエアバッグやシートヒーターの配線（装備車のみ）をかわずにしてください。



- 3 シートベルトのバックルにカバーの加工穴を通します。



- 6 シート外側の部材の付いた生地を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 7 シートの付け根側も部材の付いた生地を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



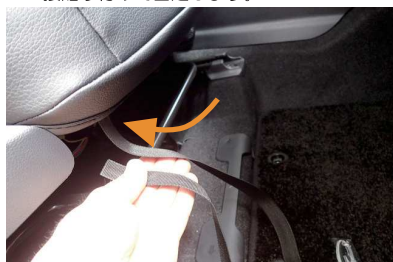
- 8 シート内側のカバーの裏には2か所マジックテープが付いています。マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は固定する際に保護テープを外して下さい。
※図は説明のため、一部カバーの装着を外しています。



- 9 シート内側のカバーを、シートとコンソールの隙間に入れ込みます。まず8番①のマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



- 10 8番①のマジックテープを固定して、更に生地を入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっています。生地が入り込みづらい場合はヘラなどで入れ込んで下さい。8番②のマジックテープをシートの端に直接貼り付けて固定します。



- 11 カバーの前側に4本のベルトが付いています。ベルトをスライドレバーの上を通してシートの背面に入れ込みます。この際、ベルトはシート裏にある、あらゆるパーツの上を、できる限り通すようにして下さい。



- 12 入れ込んだベルトをシートの背面から引き出します。



- 13 引き出したベルトを、5番で引き出した生地についているバックルに通します。



- 14 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央を通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引き過ぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまう恐れがあるので注意して下さい。



- 15 ベルトを固定したシートの背面は図のようになります。



- 16 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。
※助手席が買物アシストシートの場合は17番の説明を併せて確認して下さい。



- 17 助手席が買物アシストシートの車は、シート前側のプレートとシートの内側にカバーを通して装着を行って下さい。またシート裏側のシートアンダートレイは引き出して作業を行うようにして下さい。シートの裏で固定するベルトは、シートアンダートレイのレールの上にベルトを通すようにして下さい。



- 18 運転席と同様にカバーの装着を行います。カバーのラインを整えて、助手席買物アシストシートの完成です。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法 (ヘッドレスト一体型)



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

ヘッドレストセパレート型の1列目背もたれの装着方法は、10ページから確認して下さい。



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態で、カバーの装着を行います。まずヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



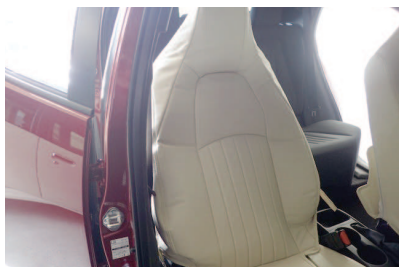
- 2 5ページ1番で外した生地をめくり上げてカバーの内側へ入れ込みます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 5 生地の両端に付いているマジックテープはシート両端の隙間が狭いため、いったんシート中央へ寄せます。シートの中央からマジックテープを入れ込みます。この際、マジックテープがねじれないように注意して下さい。



- 3 シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



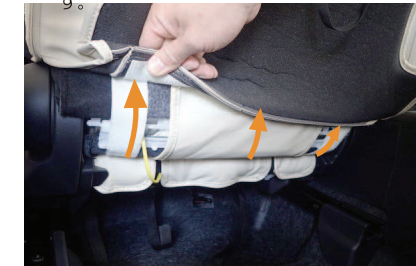
- 6 入れ込んだ生地・マジックテープをシートの背面から引き出します。マジックテープはいったん中央から引き出して、その後配線をかわしながらスライドさせるように端へ寄せていきます。



- 7 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 8 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せ、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を6番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 9 6番で引き出した生地とマジックテープをカバー背面下の裏側に付いているマジックテープと固定します。両端から出ているマジックテープは少し長めにしています。固定する際は、緩みの無い位置で固定して下さい。

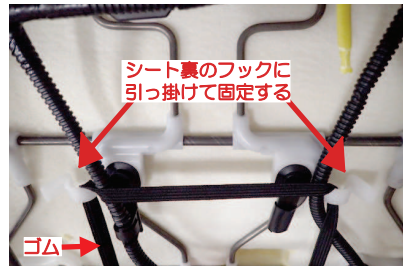


注意

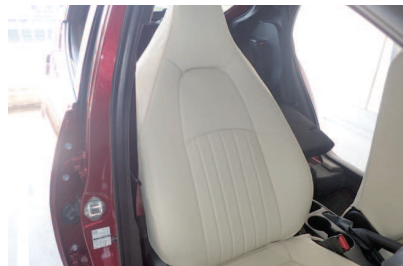
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 10 カバーの背面下にゴムが付いています。



- 11 カバーの背面下の生地は、5ページ1番で外した生地の代わりに役割をします。ゴムは5ページ1番で外した生地を固定していたシート裏のフックに引っ掛けて固定します。
※商品にはゴムを引っ掛けるために使用する金属フックが付属しています。ゴムを直接シート裏のフックに引っ掛けにくい場合は、付属の金属フックを使用してシート裏の金属フレームなどに引っ掛けて固定して下さい。



- 12 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法 (ヘッドレストセパレート型)



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



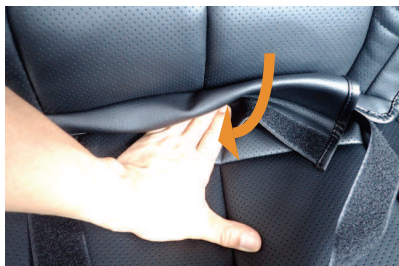
- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態にして、カバーの装着を行います。シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 4 生地伸びを利用して台座を全て取り出します。
※革を使用したカバーでは、加工穴の端が裂けてくる場合があります。慎重に作業を行っていただくことで、台座の大きさ以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 2 5ページ1番で外した生地を、めくり上げてカバーの内側へ入れ込みます。



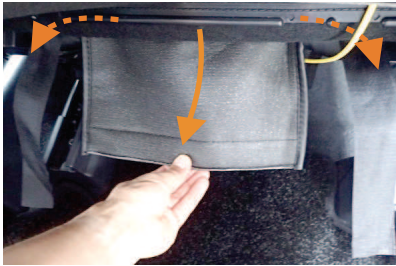
- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 6 生地両端に付いているマジックテープはシート両端の隙間が狭いため、いったんシート中央へ寄せます。シートの中央からマジックテープを入れ込みます。この際、マジックテープがねじれないように注意して下さい。



7 入れ込んだ生地・マジックテープをシートの背面から引き出します。マジックテープはいったん中央から引き出して、その後配線をかわしながらスライドさせるように端へ寄せていきます。



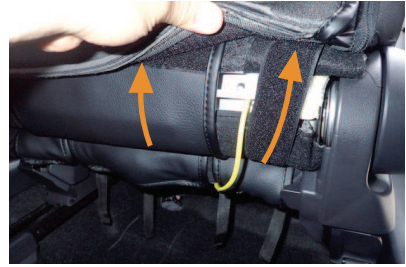
8 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



9 ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



10 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を7番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



11 7番で引き出した生地とマジックテープをカバー背面下の裏側に付いているマジックテープと固定します。両端から出ているマジックテープは少し長めにしています。固定する際は丁度良い位置で固定して下さい。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



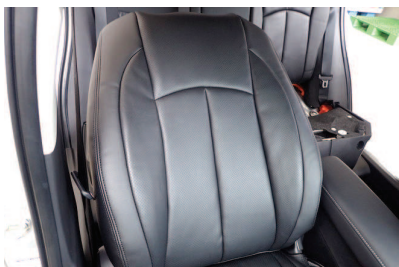
11P▶12 カバーの背面下にゴムが付いています。



- 13 カバーの背面下の生地は、5ページ1番で外した生地の代わりに役割をします。ゴムは5ページ1番で外した生地を固定していたシート裏のフックに引っ掛けて固定します。
※商品にはゴムを引っ掛けるために使用する金属フックが付属しています。ゴムを直接シート裏のフックに引っ掛けにくい場合は、付属の金属フックを使用してシート裏の金属フレームなどに引っ掛けて固定して下さい。



- 14 シートの背面下は図のようになります。



- 15 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 3

…>2列目座面の装着方法

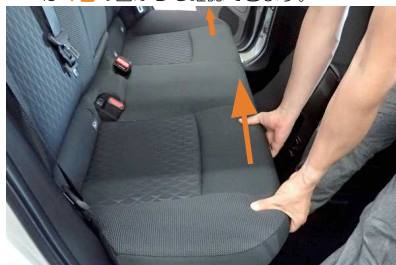
2列目座面は車体からシートを外してカバーの装着を行います。シートを外すには力を入れて、シートを持ち上げる必要があります。その際、怪我等をされないように注意して下さい。



- 1 始めに中央のシートベルトをバックルから外します。バックルの図の赤い部分をヘラなどを使用して押すと、ロックが解除されシートベルトが外れます。



- 2 シートと車体はシート裏のフックで固定されています。まずフックの位置を確認します。図の指で指しているシート裏辺りにフックがあります(助手席側も同様です)。フックの位置は4番の図からも確認できます。



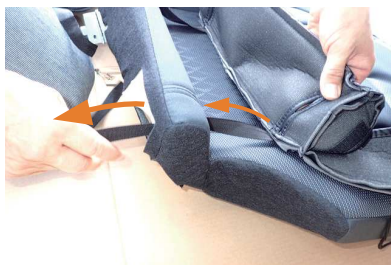
- 3 フックのすぐそばに手を入れて、体勢を整えて真上にシートを持ち上げてフックを外します。運転席側と助手席側、それぞれ片側ずつ行って下さい。この際、フックのそば以外の位置を持ち上げてしまうと、シートのクッションのみめくり上がってしまう恐れがあるので、注意して下さい。



- 4 シート裏のフックの固定が外れると図のようになります。フックと車体側の受けは図の丸印の位置にあります。この状態からシートを手前に引くと車体からシートが外れます。



- 5 シートを車外の作業が行いやすい場所へ運び出します。シートを車外へ運び出す際は、車体に傷などを付けないように注意して下さい。※車内で作業をすることも可能ですが、作業の行いやすさという点で、車外での作業をお勧めします。



- 6 カバーの裏側に付いている4本のベルトをシートのチャイルドシートを固定するために開いている穴に通します。**※シートベルトのバックルを収納する穴と間違えないように注意して下さい。**



7 ベルトを4本共通すと図のようになります。



10 シート全体にカバーをかぶせていきます。



マジックテープを直接
シートに貼り付ける

8 シートの付け根側からカバーをかぶせていきます。
シートの形状に沿うようにカバーをかぶせて、シートの側面にマジックテープを直接貼り付けて固定します。



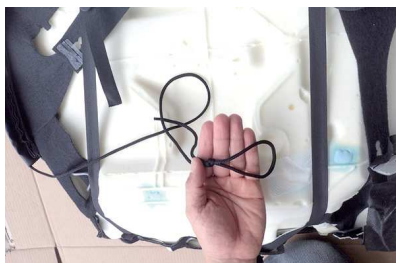
11 シート全体にカバーをかぶせ、カバーのラインを整えます。



9 シートの後ろ側です。
こちらマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



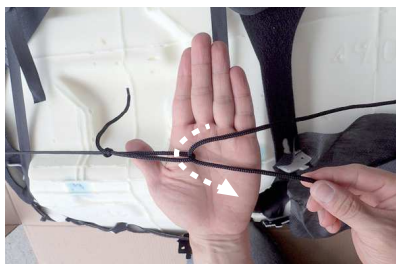
12 シートを裏返して、シートの裏で7番のベルトとカバーの前側に付いているバックルを固定します。



- 13 カバー側面の両端から出ているヒモの片側で、図のように輪を作り結び留めます。



- 16 カバーを固定したシートの裏側は図のようになります。



- 14 作った輪にもう片側のヒモを通します。



- 17 シートを表側に向けてカバーのラインを整えます。シートベルトのバックル収納部の生地は、シートを車体に戻してから生地を入れ込みます。



- 15 通したヒモを引くと、シートの下回りが絞られます。ヒモを絞込んだ状態から緩まないように結び留めます。
※通したヒモを引っ張り過ぎると、カバー表面側の生地が突っ張って、浮いてくる場合があります。ヒモは適度な力で引っ張り固定して下さい。

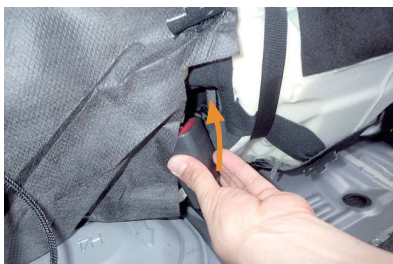


- 18 シートは付け根の位置で図のように角度が付いた形状になっています。この形状に沿ってカバーを装着できているか確認して下さい。
Point
この形状に沿ってカバーが装着できていない場合は、カバーの装着位置がずれているか、シート裏のベルトの固定が甘い可能性があります。カバーの固定を見直して下さい。

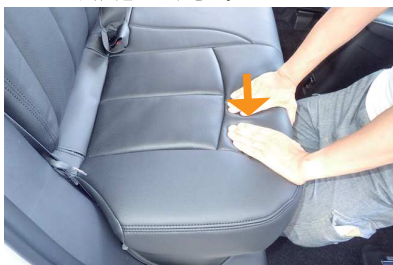
2列目座面シートは2列目背もたれカバーを装着した後、元に戻した方が2列目背もたれカバーの装着が行いやすくなります。どちらの順番でも作業は可能ですので、作業を行いやすい順番に進めて下さい。



- 19 シートを車体に戻します。始めにシートの後ろ側に付いているコの字のフックと、車体側の中央辺りにある図のツメの位置を確認して、位置を合わせてシートを戻していきます。



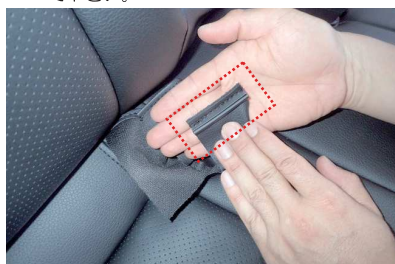
- 20 シートを背もたれ下に差し込むように入れ込みます。シートベルトのバックルをシートの裏から収納部に通します。バックルがねじれていることがあるので、バックルの向きに注意して入れ込んで下さい。



- 21 シート裏のフックの位置を合わせて、フックの真上のシートを押し込みます。運転席側・助手席側とそれぞれ行って下さい。フックが固定出来たと感じたら、シートを持ち上げてしっかり固定出来ているか確認して下さい。



- 22 シートベルトのバックル部分です。シートベルトのバックルが出ているフチに生地を入れ込みます。カバーの加工穴の位置とシートベルトのバックルの位置がずれている場合は、カバーの装着位置を調整して下さい。



- 23 運転席側の前側のみ、図のような固定部材が付いています。この部分は24番の作業で生地が入れ込みやすい反面、使用している生地が出てきやすくなるため、生地を抜けにくくするため固定部材を付けています。



- 24 ヘラなどを使用して、生地を収納部の周りに入れ込みます。



25 運転席側は図のように収まります。



28 助手席側は図のように収まります。



26 13ページ1番で外した中央のシートベルトを固定します。
※背もたれカバーを装着した後に行ってください。



29 中央のシートベルトを頻繁に使用されない場合は、バックルを図のようにカバーの内側に入れ込んでおくことをお勧めします。



27 助手席側も同様に生地を入れ込みます。図のようにシートベルトをバックルに差し込み、ベルトを引っ張りながら作業すると生地が入れ込みやすくなります。



30 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 4

…> 2列目背もたれの装着方法

2列目背もたれはアームレスト装備車で説明を行っています。アームレスト未装備車は、一部形状は異なりますが、アームレスト収納部以外は同様の固定方法で装着を行って下さい。



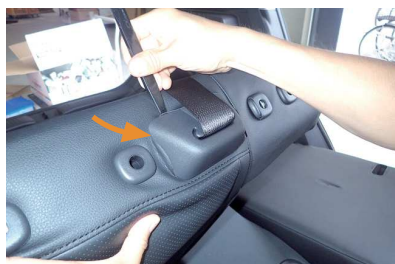
- 1 カバーに付いているファスナーを完全に開いた状態でカバーの装着を行います。始めにカバーの加工穴に中央のシートベルトを通します。



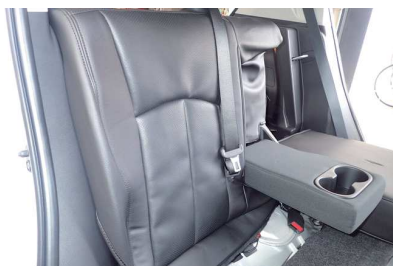
- 4 ヘッドレストの台座を全て取り出します。



- 2 アームレストを斜めに倒して、カバーの加工穴に通します。



- 5 中央のシートベルトが出ているプラスチックパーツのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 3 カバーをシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



- 6 リクライニングレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。こちらの前側は隙間が大変狭くなっていますが、少しずつ生地を入れ込んでいただければ必ず入ります。作業は慎重に行ってください。

18P ▶

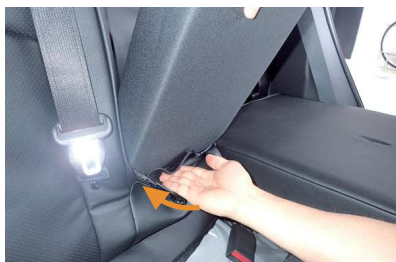
生地を入れ込む際、プラスチックパーツ裏のツメが外れてしまうことがあります。その際は生地を全て入れ込んだ後に、上から押さえて固定して下さい。



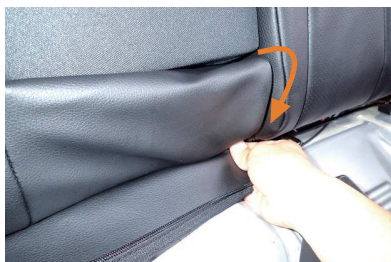
- 7 リクライニングレバー部分は図のように収まります。



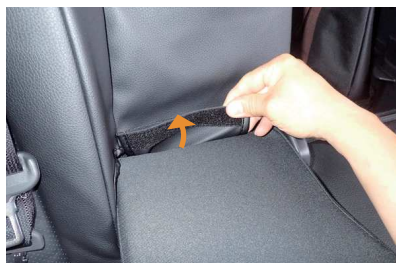
- 10 引き出した生地とアームレスト収納部下の生地をマジックテープで固定します。



- 8 アームレストの下から端にマジックテープが付いた生地を入れ込みます。



- 11 アームレスト下の生地をシートの形状に沿わせるように整えます。



- 9 アームレストを倒して生地を引き出します。



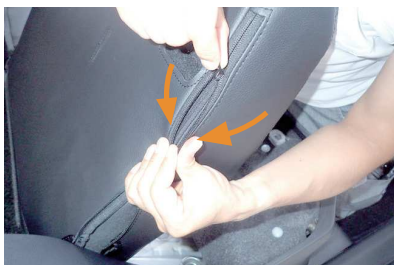
- 12 シートの下から生地を入れ込みます。



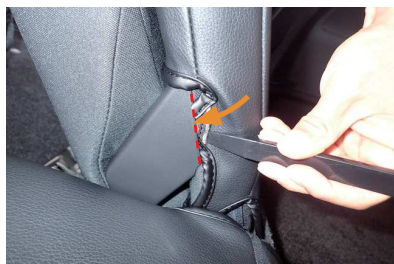
- 13** シートを倒して、入れ込んだ生地を引き出します。
 ※この際、座面を外した状態で背もたれを前に倒すと、カバーの表面側に傷や汚れが付く場合がありますので、注意して下さい。



- 14** 引き出した生地とカバーの背面下をファスナーで固定します。生地を内へ寄せながら慎重に作業を行って下さい。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



- 15** カバー外側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



- 16** シート内側面のアームレストの軸部分です。図のプラスチックパーツのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 17** アームレストを倒して、アームレスト収納部の生地もプラスチックパーツのフチに入れ込みます。



- 18** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
 ※アームレスト収納部の内側の生地は、カバー装着後すぐには生地が浮きます。アームレストを収納した状態でしばらく置いておくことで、カバーに型が付き、生地の浮きが軽減していきます。全てのカバーを装着後、アームレストはしばらく収納した状態にしていただくことをお勧めします。助手席側も、一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 5

…>2列目アームレストの装着方法

2列目アームレスト装備車のみ確認して下さい

先端の生地がしっかりと
張るようにかぶせる



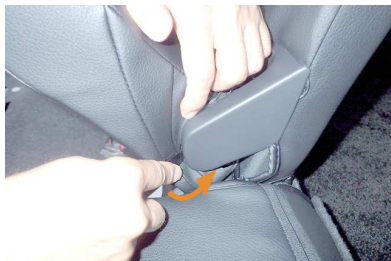
- 1 ドリンクホルダーの加工穴の位置で、カバーの前後を確認して下さい。アームレストを斜めに倒します。カバーの入り口を裏返し、アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。アームレストの先端まで生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。



- 2 アームレストのラインに合わせてカバーを全体にかぶせます。



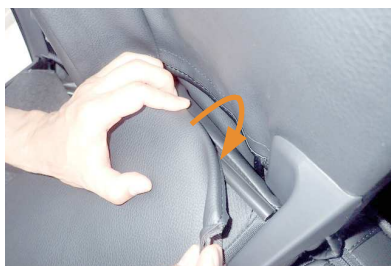
- 3 アームレストを起こして、アームレストの下から端に部材の付いた生地を入れ込みます。



- 4 3番で生地を入れ込む際、図のアームレストの軸部分に生地が引っ掛かることがあります。軸の内側に生地が入り込むように調整して下さい。



- 5 アームレストを倒して3番で入れ込んだ生地を引き出します。



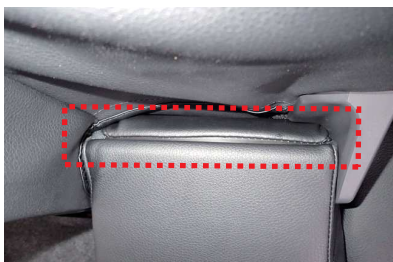
- 6 アームレスト付け根の部分でブラフックを固定します。



- 7 ブラフックの固定方法は、かぎ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 10 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



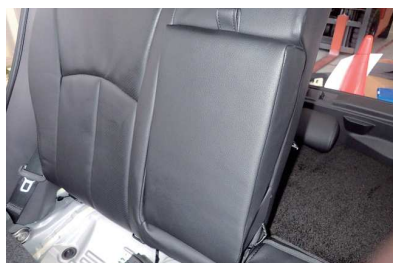
- 8 ブラフックを固定すると図のようになります。



- 11 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



- 9 アームレストの軸周りの生地を、ヘラなどを使用してプラスチックパーツのフチに入れ込みます。



- 12 アームレストを背もたれに収納した状態です。
※20ページ18番でも説明していますが、シートカバー装着後は、しばらくこの状態にしておいていただくことをお勧めします。
2列目運転席側カバーのアームレスト収納部の生地に型が付くまでこの状態にしておいて下さい。一週間程度が目安になります。

Step 6

…> 1 列目アームレストの装着方法

1 列目アームレスト装備車のみ確認して下さい



- 1 始めにアームレストの表側のパーツを外します。
アームレストを開けると裏側にネジが6本あります。ドライバーを使用してネジを全て外します。



- 2 先端のネジを外すと、アームレストをロックするパーツが図のように外れます。



- 3 アームレストの表と裏側はネジとツメで固定されているので、ネジを全て外しても表側のパーツは外れません。
アームレストの表側のパーツと裏側のプラスチックパーツの隙間にヘラなどを差し込みます。差し込んだヘラをゆっくり返すと裏側のツメが外れます。この作業は慎重に行ってください。



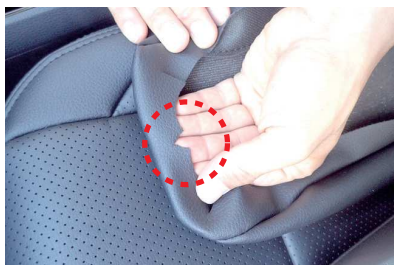
- 4 ツメが外れると、図のように表側のパーツが外れます。



- 5 アームレストの表側のパーツにカバーをかぶせます。
アームレストカバーの装着を、よりきれいに行うために薄い両面テープの使用を推奨します。
両面テープを側面のフチに貼り付けます。



- 6 裏側のフチにも図のように両面テープを貼り付けます。
※図ではカバーを装着しかけた状態になっていますが、カバーを装着する前に行ってください。



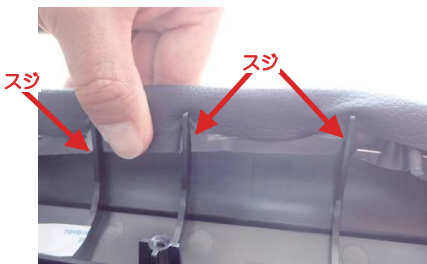
- 7 カバーの前後を確かめます。
図のようにカバーの端に三角の切り込みが入っている方が前側になります



- 10 アームレスト裏側のフチにカバーをかぶせていきます。
この際、裏側にあるツメ部分を生地で覆ってしまわないように、ツメの内側に生地が入るようにして下さい。



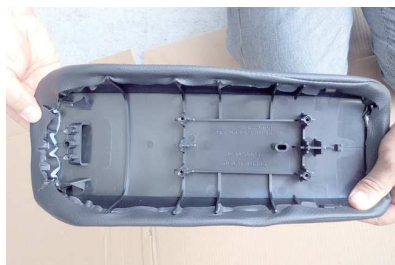
- 8 アームレストの先端側からカバーを引っ掛けるようにかぶせます。



- 11 裏側にツメ以外にも図のような縦のスジがあります。このスジ部分も生地が覆わないように、スジの内側に生地が入るようにして下さい。



- 9 カバーをアームレスト全体にかぶせます。
両面テープを使用している場合は、アームレストの側面の生地を、両面テープで固定します。カバーのラインを整えて、作業を行って下さい。



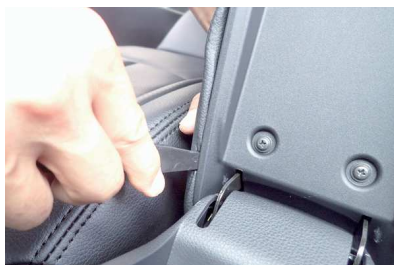
- 12 アームレストの裏側は、図のようになります。



- 13 アームレストの表側のパーツを元通りに固定します。
アームレストの軸側の真ん中に突起があります。この突起と鉄のフレームの穴位置を合わせます。



- 14 アームレスト裏側のプラスチックパーツも合わせて、ネジ穴の位置をしっかりと確認して、ネジを固定します。
この段階でネジは軽く絞めるのみにして下さい。



- 15 カバーにシワやたるみが出ていないかを確認します。
この時点でアームレストカバーの側面にシワなどが入っている場合は、図のようにプラスチックパーツとの隙間にヘラなどで生地を入れ込み調整します。
※シワがひどい場合は、もう一度アームレストの表側を外して、カバーの装着を見直す必要があります。



- 16 カバーの表にシワやたるみがないことを確認してネジをきっちりと締め直します。
ネジを絞めただけではツメは固定されません。アームレストの側面を内側へ押し込みツメを固定して下さい。



- 17 ツメがしっかり固定できていない場合は、プラスチックパーツと表側のパーツの間に隙間ができます。16番の作業の後、図の点線部分に隙間ができていないか確認して下さい。隙間がある場合はツメがしっかり固定出来ていません。16番の作業をやり直して下さい。



- 18 ツメの固定が問題なくできているか、ネジを締め忘れていないか、もう一度確認して下さい。
1列目アームレストの完成です。

Step 7

…> 1 列目ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト装備車のみ確認して下さい



- 1 始めにカバーの入り口を図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前側です。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



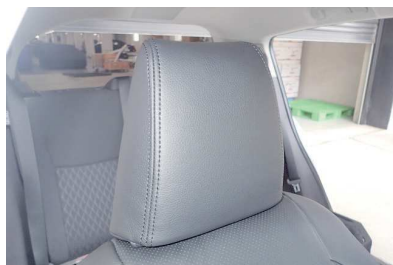
- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏でブラフックを固定します。



- 4 ブラフックの固定方法は、かぎ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 5 ブラフックを固定するとヘッドレストの裏側は図のようになります。

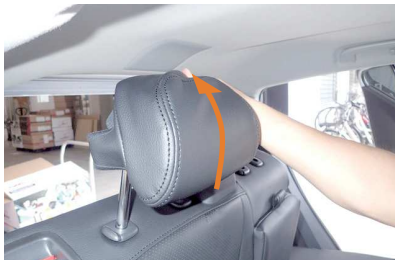


- 6 ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。

Step 8

…>2列目ヘッドレストの装着方法

2列目運転席側のヘッドレストで説明を行います。2列目運転席側と助手席側のヘッドレストは同形状です。2列目中央のヘッドレストも一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



- 1 始めにカバーをヘッドレストの先端から矢印方向へ、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前側になります。



- 4 1列目と同様にブラックを固定します。2列目運転席側・助手席側のヘッドレスト裏は図のようになります。



- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5 2列目中央のヘッドレスト裏は図のようになります。

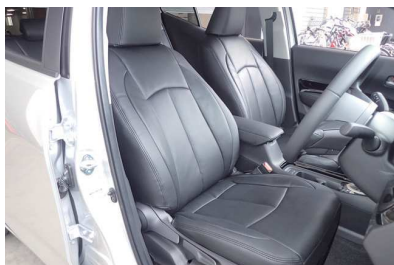


- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側で、生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。

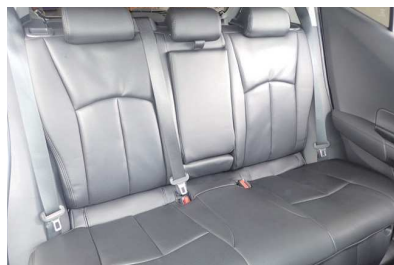


- 6 ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

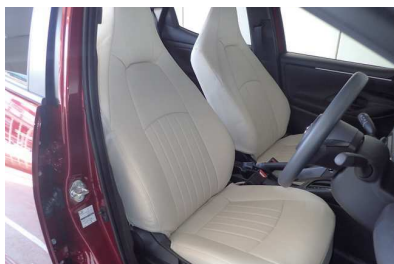
完成図



ヘッドレストセパレート型の1列目



2列目アームレスト装備車のアームレスト
収納状態



ヘッドレスト背もたれ一体型の1列目



2列目アームレスト装備車のアームレスト
使用状態



ヘッドレストセパレート型の1列目背面



ラゲッジ側から2列目背面

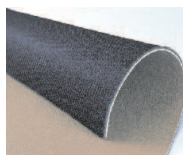


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816